

# ねぎの秋以降の病害虫対策について

令和5年9月 大里農林振興センター

本年は平年を大幅に上回る高温と乾燥で、シロイチモジヨトウは非常に多い状況です。ネギハモグリバエの発生は一時的に抑えられましたが、成虫・幼虫の食害が目立ってきています。ネギネクロバネキノコバエは低温とともに活動が活発となるため、土寄せ等に合わせ計画的防除を心がけましょう。

病害では、白絹病、軟腐病等の病害が平年以上に多く見られています。黒腐菌核病は一度発生すると防除が困難となるので、必ず薬剤処理をしましょう。

防除効果を高めるため、展着剤の活用・ローテーション散布・散布量・散布位置や時期に注意しましょう。

台風や豪雨に備えて、ほ場の排水対策を見直しましょう。

## ①シロイチモジヨトウ

- ・葉内に食入した幼虫や老齢幼虫は、薬剤の効果低下するため、葉の表面にいる幼齢幼虫を確認したら直ちに防除しましょう。



## ②ネギハモグリバエ

- ・幼虫の食害、成虫を見たら速やかに薬剤散布する。粒剤も併用し葉内幼虫を防除しましょう。土中に残ったさなぎは、翌年度の発生源となるので、注意が必要です。



## ③黒腐菌核病

- ・大雨・台風等でほ場に水が流れ込むと、根痛みや病原菌の流入で発病しやすくなる。処理例を参考に防除を行う

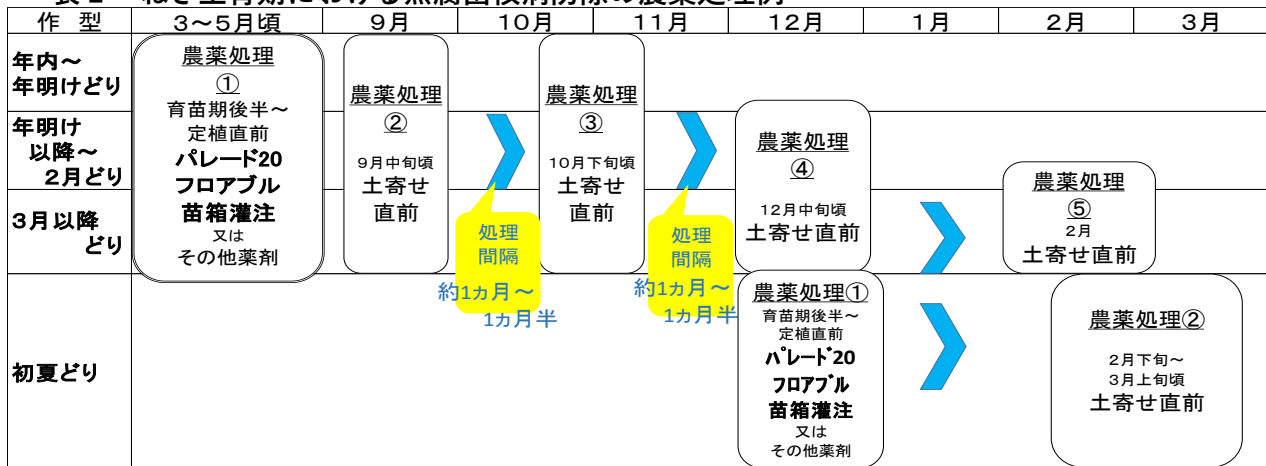


# 薬剤例 (令和5年8月23日現在の登録状況に基づく)

作用機構分類 IRAC	農薬通称	害虫			希釈倍数 ・ 使用量	使用方法	使用時期	本剤の 使用回数	散布液量	
		ネ リ バ エ モ グ	ノ コ バ エ ネ キ	シ ロ イ チ モ						
殺 虫 剤	1A	ランネット45DF		○	1000倍	散布	収穫7日前まで	4回以内	100~ 300L/10a	
				○	1000~2000倍					
	3A	アグロスリン乳剤			○	1000倍	散布	収穫7日前まで	5回以内	100~ 300L/10a
			○			2000倍				
		フォース粒剤		○		9kg/10a	作条土壌混和	定植時	1回	—
				○			株元散布	収穫30日前まで	1回	—
	4A	スタークル顆粒水溶剤・ アルバリン顆粒水溶剤		○		1000倍	株元灌注	生育期 但し収穫14日前まで	1回	1L/m <sup>2</sup>
			○※1			400倍				0.4L/m <sup>2</sup>
		スタークル粒剤・ アルバリン粒剤	○※1			6~9kg/10a	株元散布	生育期 但し収穫3日前まで	2回以内	—
				○		6kg/10a				—
		ダントツ水溶剤	○			2000~4000倍	散布	収穫3日前まで	4回以内	100~ 300L/10a
		ダントツ粒剤	○			3~6kg/10a	株元散布	収穫3日前まで		—
		ベストガード水溶剤	○	○		1000~2000倍	散布	収穫前日まで	3回以内	100~ 300L/10a
	ベストガード粒剤	○			6kg/10a	株元処理	収穫前日まで	—		
		○	○			植溝処理土壌混和	定植時	1回	—	
	5	ダブルシューターSE	○		○	1000倍	散布	収穫3日前まで	3回以内	100~ 300L/10a
		ディアナSC	○		○	2500~5000倍	散布	収穫前日まで	2回以内	100~ 300L/10a
	6	アフファーム乳剤	○※1			1000倍	散布	収穫7日前まで	3回以内	100~ 300L/10a
					○	1000~2000倍				
	9B	コルト顆粒水和剤	○			2000倍	散布	収穫3日前まで	3回以内	100~ 300L/10a
	13	コテツフロアブル	○		○	2000倍	散布	収穫7日前まで	2回以内	100~ 300L/10a
	14	パダンSG水溶剤	○※1	○		1500倍	散布	収穫前日まで	2回以内	100~ 300L/10a
	15	マッチ乳剤			○	2000倍	散布	収穫7日前まで	3回以内	100~ 300L/10a
		カスケード乳剤	○	○	○	4000倍	散布	収穫14日前まで	3回以内	100~ 300L/10a
		デミリン水和剤		○		2000倍	株元灌注	収穫21日前まで	3回以内	300mL/m <sup>2</sup>
	21A、39	ハチハチ乳剤	○	○	○	1000倍	散布	収穫7日前まで	2回以内	100~ 300L/10a
	28	フェニックス顆粒水和剤			○	2000~4000倍	散布	収穫7日前まで	3回以内	100~ 300L/10a
		プリロツソ粒剤オメガ	○※1			6kg/10a	株元散布	収穫前日まで	3回以内	—
		プレバソソフロアブル5	○※1		○	2000倍	散布	収穫3日前まで	3回以内	100~ 300L/10a
		ベネビアOD	○※1		○	2000倍	散布	収穫前日まで	3回以内	100~ 300L/10a
ベリマークSC		○※1			2000倍	株元灌注	収穫7日前まで	1回	0.5L/m <sup>2</sup>	
ヨーバルフロアブル		○※1		○	2500~5000倍	散布	収穫3日前まで	3回以内	100~ 300L/10a	
		○		2500倍						
30	グレーシア乳剤	○※1	○	○	2000~3000倍	散布	収穫7日前まで	2回以内	100~ 300L/10a	
	プロフレアSC	○		○	2000~4000倍	散布	収穫前日まで	3回以内	100~ 300L/10a	

※1 ハモグリバエ類で登録あり

表1 ねぎ生育期における黒腐菌核病防除の農薬処理例



※農薬処理①のその他薬剤、②~⑤は「薬剤例」を参考に選択してください

作用機構分類 FRAC	農薬通称	病害			希釈倍数・ 使用量	使用方法	使用時期	本剤の 使用回数	散布液量	予防・ 治療	
		軟腐病	白絹病	黒腐菌核病							
殺菌剤	2	スミレックス水和剤		○	1000倍	株元散布	収穫21日前まで	3回以内	100~ 300L/10a	治療	
		ロブラール水和剤		○	500~1000倍	株元灌注	収穫14日前まで	3回以内	1L/m <sup>2</sup>	治療	
	3	モンガリット粒剤		○	4~6kg/10a	株元散布	土寄せ時、但し収穫 14日前まで	3回以内	—	治療	
				○	6kg/10a		生育期、但し収穫14 日前まで		—		
	4, 11	ユニフォーム粒剤		○	9kg/10a	株元土壌混和	土寄せ時、但し収穫 45日前まで	1回	—	治療	
	7	アフエットフロアブル		○	○	1000~2000倍	株元灌注	生育期、但し収穫14 日前まで	2回以内	1L/m <sup>2</sup>	治療
				○		2000倍	散布	収穫前日まで	2回以内	100~ 300L/10a	
		カナメフロアブル		○		4000~8000倍	株元散布	収穫前日まで	4回以内	100~ 300L/10a	
					○	4000倍					
		モンカットフロアブル40		○		2000倍	株元散布	土寄せ時、但し収穫 30日前まで	3回以内	100~ 300L/10a	治療
		パレード20フロアブル		○	○	2000倍	散布	収穫前日まで	3回以内	100~ 300L/10a	治療
	11	メジャーフロアブル		○	○	2000倍	散布	収穫前日まで	3回以内	100~ 300L/10a	治療
	12	セイビアーフロアブル20		○	○	1000倍	散布	収穫前日まで	3回以内	100~ 300L/10a	予防
	29	フロンサイド粉剤		○		15kg	株元散布	土寄せ時、但し収穫 21日前まで	2回以内	—	予防
	31	スターナ水和剤	○			2000倍	散布	収穫7日前まで	3回以内	100~ 300L/10a	治療
U18	バリダシン液剤5		○		500倍	株元散布	収穫前日まで	2回以内	100~ 300L/10a	治療	
		○		散布							
P02	オリゼメート粒剤	○			6kg/10a	株元散布	土寄せ時、但し収穫 30日前まで	2回以内	—	予防	
M01	ヨネポン水和剤	○			500倍	散布	収穫7日前まで	4回以内	100~ 300L/10a	予防	
	Zボルドー	○※2			500~1000倍	散布	—	—	100~ 300L/10a	予防	

※2 野菜類(キャベツを除く)で登録あり

- 農薬の使用時は必ず使用農薬のラベルを確認しましょう。
- 栽培記録簿等の農薬チェック表をよく見て、散布回数等を確認しましょう。
- 同じ薬剤・作用機構分類の薬剤の連用は避け、飛散に注意して散布しましょう。